

2001.9.14

日本科学者会議 福井支部 ニュース

第3号 2001年9月14日発行

** 日本科学者会議福井支部

** 〒910-8507 福井市文京3-9-1

** 福井大学工学部 小倉久和研究室 気付 Tel 0776-27-

8582

** ogura@nqueen.fuis.fukui-u.ac.jp

** 郵便振込口座番号 00710-9-17967 日本科学者会議福井支

部

** ホームページ <http://www.jsa.gr.jp/fukui/>

第31期支部ニュース No.3をお届けします。ニュースへ掲載するため、多様な投稿記事、意見、コメントなどを事務局まで電子メールでお寄せ下さい。歓迎します。

今号の内容

◎9/14 福井県知事 福井空港拡張計画凍結表明

◎9/11の9月例会の報告

◎会員の声

◎福井支部の活動（幹事会、常任幹事会などの議事要約）

9/4 第2回幹事会, 8/6,9/6 支部事務局会議

10月例会のお知らせ

高校教育の現場から見た教育の問題・課題についてお話しをうかがいます。

報告：山岸昭則氏 福井大学教育地域科学部非常勤講師

元金沢中央高等学校教諭

日時：10月25日（木）18:30～20:00

会場：福井大学教育地域科学部 小会議室（予定）

ご関心のある方はどなたでも、会員・非会員を問わず、ご参加下さい。

お願い 2001年度後期会費未納の会員は至急納入下さい。
（現在、約1/2の会員からのみ納入）

過去の会費が未納の会員は、分納でも結構ですので、滞納一掃にご協力下さい。

福井支部のホームページが、本部のページからリンクされました

<http://www.jsa.gr.jp/> からたどれます。

支部のホームページには、「福井の科学者」の創刊号からの目次をすべて掲載しています。

第31期 支部の会議の記録

第2回幹事会

2001.9.4(火) 19:00～20:10, 福井大学教育地域科学部1号館5階 5
2 演習室

*小幡谷・*小倉・*小寺・*小川・永井・大久・*隼田・*松浦・(*
森)・*加藤・*高木

1. 報告 権利問題委員会（高木）：権利白書の普及について、その他

2. 支部の組織について

幹事・常任幹事の交代と追加の決定：*隼田嘉彦・*松浦義則・*横山俊一

編集委員長の代理：伊藤⇒山川：1年間のピンチヒッター

来年度以降（伊藤氏の組合役員任期終了後）の担当者については、次期人事時に検討。

3. 第31期福井支部の活動について

(1) 月例会の計画

9月11日 18:30～ 例会開催

「食とくらしを守る－畜産の研究事例から考察する－」 報告：

加藤武市氏

10～11月例会として 山岸氏に依頼：寺岡氏が企画

永井幹事に、今年度の例会企画の検討を依頼する（現在海外出張中、8月帰国）

(2) 支部30周年記念行事企画について

30周年記念座談会：創設時の会員を中心に、座談会・懇談会を開催したらどうか

市民講演会企画：原発問題・エネルギー問題、館野氏・野口氏など、本部へ問合せ

その他、恐竜関連の話題、公共交通問題についても検討する

(3) 『福井の科学者』編集方針・発行方針について

#86の企画案と進捗状況：10月中旬ころ発行予定（高木氏）

山岸：連載第3回、加藤：9月例会報告、その他

#87の企画案について：次回提案・説明（山川氏）

(4) 支部の各組織の活動

(5) 他団体との協力

(6) 全国規模・国際規模での活動

(7) 会員拡大

(8) 財政 8月9月分が上納未納（約16万円）：至急送金。

今期請求の約1/3が入金済み。今期分会費は約1/2の納入率。

福井大学所属の会員に未納が多い（約1/3）。

4. その他

事務局長会議：9/30 at 大阪（関西地区）

支部ニュース（第3号）の発行計画

会議報告、福井の科学者の案内、例会案内（山岸氏）

9月例会の報告、感想など。その他意見など

次回 常任幹事会 10月 2日（火） 19:00～

第2回事務局会議

1. ニュース No3.の発行について

会員の声欄をつくり、多数の会員に投稿してもらおう。まず、各幹事に依頼する。

9月～10月の発行予定

2. 会員名簿台帳を作成について：会員名簿を整備する：担当小倉

3. 財政：集金状況の確認と会計台帳の整備

9月まで会費の上納済み。

現在の財政状況では、毎月前納するとすると、11月までしか対応で

きない。

機関誌送付時に、会費納入状況を未納・滞納会員に連絡。

福井大学と県立大学の会員については、幹事にも関係会員納入状況を連絡。

次回事務局会議 9月6日(木) 13:30~

2001.9.14 福井新聞記事 福井空港拡張 知事、凍結表明

へ

栗田知事、14日開会の県議会で、福井空港拡張計画の凍結を表明する予定。

福井空港問題は、不透明ながら、1つの区切りか。

独り言のコラム

新世紀は人類の未来を開く世紀になるの？ 9.11NYの飛行機テ

ロで思うこと

9月11日22:00過ぎ(日本時間)、ニューヨークのツイン貿易ビルに航空機が突っ込みビルが崩落したという臨時ニュースが世界を震撼させた。ユニラテリズムで世界を敵に廻しつつあったブッシュ政権は、これを好機に世界の世論を引き付け軍事報復を宣言した。私が小学校以来学んで来た歴史は人類進歩の歴史であったし今でもそう信じたいが、しかし人権も平和もそしていまや地球環境も後退に次ぐ後退を重ね、社会的不正・不公平が拡大しつつあるように見える。このような状況を見るにつけ、これらの点については人類の歴史は少しも進歩してないし、技術的に進歩した分、後退しているようだ。地球の人類の未来に暗澹とせざるを得ない。

テロルに断固とした態度をとることと、目には目を、という意識とは大きな落差がある。テロルを封じ込めるための軍事攻撃は国家テロルで対抗するということだ。エシュロンでも今回のテロルを防げなかった超大国は、ますます権力を強化することで応じるだろう。ところで、話しは全く異なるが、TVのドラマで怒りを暴力に転化する筋書きのものが多くある。たとえば、主人公が不正による犯罪で被害を受けて恨みに変え、後で復讐し殺すのだ。それを刑事や探偵が犯罪として暴く筋書きは、私は好きになれない。主人公の行為は犯罪でありそれは裁かれるの

であるが、それが、そのような描き方が、私を非常に不安にする。その犯罪の契機となった社会的不公正は解決しないのだ。そのような犯罪を防ぐことにならないからだ。世界が同じ構図で動いているように見える。2年前のユーゴ爆撃でも同じような感情に囚われた。

どうすればよいか私は解答を持っていないし、提案もできない。このような極めて困難な問題・課題にどう対処したらよいのだろうか。しかし、それと同時に、日常的な社会的不正・不公正の拡大を防ぐこと、それを人類文化の歴史から学ぶこと、が少なくとも必要だと思う。小泉首相はそれを分かってくれるのだろうか。(OG)

会員の声

建築現場でも環境・安全・品質意識

先日、研修で訪問したN大学では、福井大学と同様に12階建ての総合研究棟の工事が行われていました。建物の外観や工事手法は、現在行われている福井大学の13階建ての工事とほぼ同じようでした。その時目にした工事現場に掲げられた、『「信頼できる品質を目指して」ISO9001・「地球にやさしい環境を目指して」ISO14001』の大きな看板にビックリしました。N大学は都会に位置していることもありますが、この工事を担当している大学関係者や企業の品質・安全や環境に対する考えが、大きなインパクトとして伝わってきました。

振り返って福井大学の総合研究棟の工事現場では、以前に比べると環境に対する配慮は良くなっていると思いますが、このような看板などは見かけませんか？最近ではこのような国際標準規格を取得してないと企業活動ができない情勢になっているようで、企業の立場を象徴的に示していると思います。福井大学でも既に環境問題や安全・品質管理に対する取組が進められていますが、これらの問題点とその原因、対策について、教育研究者側からの広く主体的な取組が必要と感じました。

(O生)

事務局から：ニュース記事，自己紹介記事，コラム，意見などお寄せ下さい。

9月例会が開催されました

「食とくらしを守る－畜産の研究事例から考察する－」

報告：加藤武市氏

日時 2001年9月11日（火） 18：30～20：00

場所 福井大学教育地域科学部1号館5階・51演習室

台風16号の影響で荒れ気味の天候でしたが、取材の新聞記者さんを加えて10名近くの参加者がありました。報告の冒頭は、当日朝のニュースで報じられた日本初の狂牛病疑いの牛の発生についてで、狂牛病の歴史や問題点の紹介がありました。ついで、本題の畜産業における牛について、多数の図やデータに基づく詳細な説明があり、私は圧倒されながら聞き入っておりました。とりわけヨーロッパの環境との調和をはかる畜産業と日本の状況の相違にはあ然とし、農業破壊が畜産分野まで及んでいることがよく分かり、日本の将来について考えさせられました。報告に基づく参加者とのディスカッションも活発に行われました。大変興味深い報告で、フロアからは加藤氏の専門のニワトリについても報告して頂くよう要請があり、事務局として相談することとなりました。

この例会報告に関連した詳細な報告を含む論文が、10月に出版される「福井の科学者」に掲載されます。ご期待下さい。また、「日本の科学者」に加藤氏本人の短い手記として掲載される予定です。次号のニュースには、例会に参加されていた岩泉氏から、詳細な紹介をして頂く予定です。

**福井の科学者 第86号 が発行されます。
支部ニュースの次号で紹介します。**